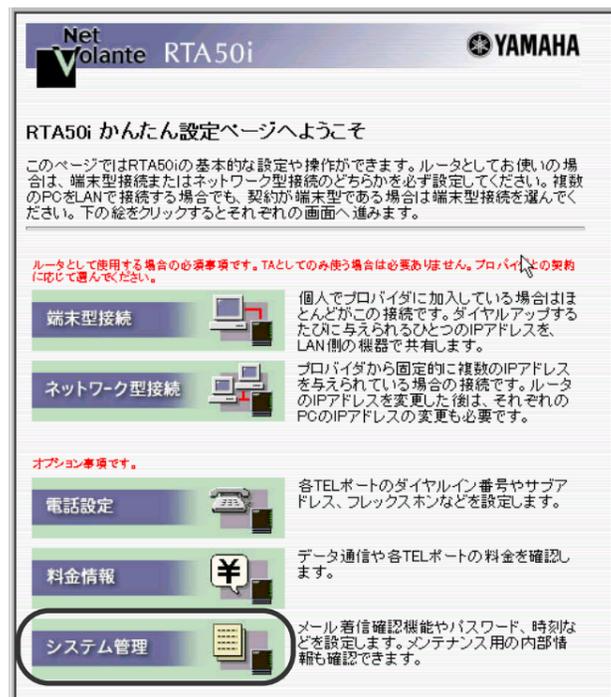


## ブラウザからの設定・操作手順

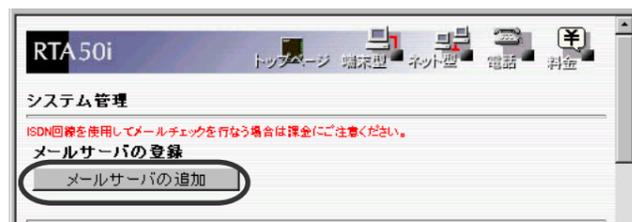
- 1 ブラウザを開いてRTA50iへアクセスします。  
[パスワード]欄にパスワードを入力し、[OK]ボタンを押します。



- 2 「かんたん設定ページ」が表示されたら、[システム管理]を押します。



- 3 「システム管理」ページの[メールサーバの追加]ボタンを押します。

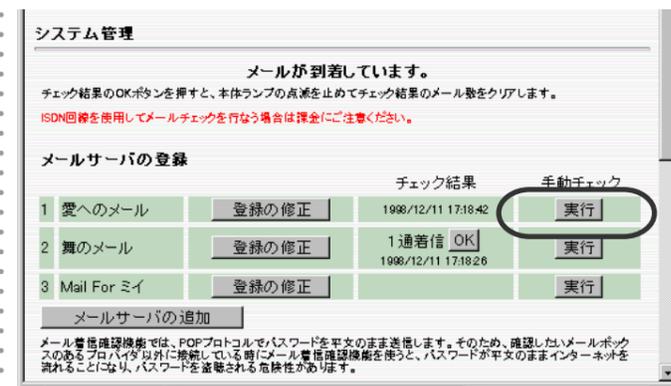


- 4 メールサーバの名称、メールサーバのIPアドレス、ユーザ名、パスワードを入力し、[登録]ボタンを押します。  
メールサーバのIPアドレス、ユーザ名、パスワードは、プロバイダから通知されたものを入力してください。

- 一定時間ごとにメールチェックを行う場合には、「自動チェック」を「行なう」を選択し、「自動チェック間隔」の時間間隔と指定時刻を入力します。
- メッセージに従ってボタンを押すと、設定が登録されて「システム管理」ページへ戻ります。



- 5 手動チェックする場合には、登録したメールサーバの名称に対応する「手動チェック」欄の[実行]ボタンを押すと新しいメールがあるかどうかを調べます。  
プロバイダへ接続していない時には、チェックを行うためにプロバイダと接続するので通信料金がかかります。  
手動チェックでも自動チェックでも、既にプロバイダと接続中の場合、そのプロバイダのメールサーバでないメールサーバに対してこのコマンドが実行されると、パスワード情報などが暗号化されずにインターネット上にまで流れるので注意が必要です。



- 6 手動チェックの結果、新しいメールがあるとL1 LEDの点滅で知らせます。自動チェックの場合には指定時刻が来ると自動的にチェックが実行され、新しいメールがあるとL1 LEDの点滅で知らせます。メールサーバ1に新しいメールがあると、L1 LEDが1回ピカッと光るのを繰り返します。もしメールサーバの1と2に新しいメールがあると、ピカッ...ピカピカッという繰り返しが現れます。なお、サーバ3と4は区別されずにピカピカピカッという点滅で表されます。
- 7 「チェック結果」欄の[OK]ボタンを押すと、対応したサーバ番号の点滅パターンが消えます。

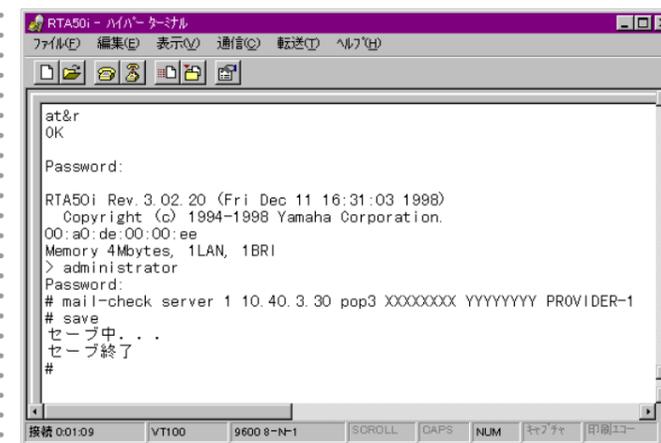
メール着信確認機能は、プロバイダに新しいメールがあるかどうかを確認して、L1 LEDを点滅させたり、ブラウザで確かめたりする機能です。対応するプロバイダ等の情報はYAMAHA ISDNホームページの情報をご覧ください。実行の際には説明文中のパスワードの盗聴に関する危険性について十分ご注意ください。

## コンソールからの設定・操作手順

- 1 RTA50iのコンソールへアクセスします。  
コンソールとしては、TELNETによりアクセスするか、SERIALポートに接続したパソコン上でターミナルソフトを開きます。  
SERIALポートからログインする場合には、at&r コマンドを入力してコンソールに切り替えます。

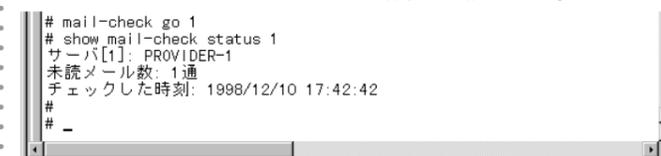
- 2 パスワードを入力してログインし、administrator コマンドを実行します。

- 3 mail-check server コマンドを入力してメールサーバの設定を行い、save コマンドを実行して設定内容を保存してください。



- 4 mail-check go コマンドを実行します。  
サーバ番号が1の場合には mail-check go 1 と入力し、リターンキーを押します。

- 5 show mail-check status コマンドで結果を確認します。



- 6 確認が済んだら、mail-check led off コマンドを実行して、L1 LEDの点滅を止めます。



## コンソールコマンド一覧

### メールサーバの設定

[入力形式] 1. mail-check server *N DESTINATION* pop3 *USERID* *PASSWORD [NAME]*  
2. mail-check server *N* clear

[パラメータ] ・ *N* ... サーバ番号(1..4)  
・ *DESTINATION* ... メールサーバのIPアドレス  
ホスト名  
clear ... メールサーバの宛先なし  
・ *USERID* ... ユーザID (40文字以内)  
・ *PASSWORD* ... パスワード (40文字以内)  
・ *NAME* ... 識別名(32文字以内)

[説明] メールサーバのIPアドレス等の情報を設定する。

### メールチェックの実行

[入力形式] mail-check go *N*

[パラメータ] *N* ... サーバ番号(1..4)

[説明] メールチェックを実行する。  
結果はL1 LEDの点滅で知らされる。

[ノート] 既に接続中のプロバイダにないメールサーバに対してこのコマンドを実行すると、パスワード情報などが暗号化されずにインターネット上に流れるので注意が必要。

### メールチェックによるLEDの消灯

[入力形式] mail-check led off [*N*]

[パラメータ] ・ off ... LEDの消灯  
・ *N* ... サーバ番号(1..4) (省略時は全てのサーバ番号)

[説明] メール着信を通知するL1 LEDの点滅を止める。

### メールチェックの状態表示

[入力形式] show mail-check status [*N*]

[パラメータ] *N* ... サーバ番号(1..4) (省略時は全てのサーバ番号)

[説明] 先のメールチェックの実行結果を表示する。

### メールチェックタイムアウトの設定

[入力形式] mail-check timeout *N TIME*

[パラメータ] ・ *N* ... サーバ番号(1..4)  
・ *TIME* ... メール到着チェック時にタイムアウトするまでの秒数(1..180)

[説明] メールチェックでのタイムアウトするまでの時間を設定する。  
メールサーバに対するアクセスに時間がかかる場合はこの値を大きくする。

[デフォルト値] 30秒